

令和7年度 第1回岩手県 I L C推進本部会議

日時：令和7年5月7日(水) 庁議終了後

会場：第一応接室

1 開会

2 本部長挨拶

3 報告

(1) I L C計画に係る動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ

(2) 令和6年度における取組実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ

4 議事

令和7年度における I L C推進の具体的な取組内容・・・・・・・・・・・・ 13 ページ

5 その他

6 閉会

1 ILC計画に係る動き

➤ KEKがタイムラインを公表

- 2023（令和5）年4月 KEK（高エネルギー加速器研究機構）は、欧州 FCC-ee 及び素粒子物理戦略の結論が出る 2025（令和7）年が ILC 誘致判断のタイミングであることに加え、2030（令和12）年頃を建設開始とするタイムラインを公表

➤ 米国がILCへの貢献を想定

- 2023（令和5）年12月 米国における今後10年の素粒子物理学の方向性を示す「P5報告書」に、米国が貢献するプロジェクトの選択肢として、欧州のFCC-eeと日本のILCを多額の予算規模と共に掲載

➤ 欧州の大型加速器（FCC-ee）計画

令和7年3月末までにFCC-ee実現可能調査を終え、12月に次期欧州素粒子物理戦略の草案を作成、令和8年6月に改訂される見込み
 ＜FCC-ee実現可能性調査の報告＞

- 2025（令和7）年3月 FCC-ee建設コストは26,503億円（153.2億スイスフラン、1スイスフラン＝173円換算）
 2024年のCERN理事会への報告から変動なし

＜次期欧州素粒子物理戦略＞

- 2025（令和7）年3月 戦略に対する研究者の意見が提出され、ILCについて言及

日本高エネルギー委員会……ILCをグローバルプロジェクトとして実現するための努力を優先する。日本でのILC実現のためには、国際的なパートナーとのグローバルプロジェクトとして実施することが重要なアプローチである。

IDT（国際推進チーム）……2017年以降、ILCコストを再評価し、ILCの総コストの75%を占める「加速器本体」「設備」「土木建築」について、2024年時点の最新の見積もりを実施。

【参考】ILCジャパンのHPに掲載された資料によると、コストは13,765億円（2017年の8,033億円から1.7倍に増加）

LCビジョン……CERNでのリニアコライダー施設を提案。これは費用対効果に優れた段階的建設提案である。

- 2025（令和7）年6月 公開シンポジウム
 11月 同シンポジウムを受けた最終意見提出
 12月 戦略の草案を作成
- 2026（令和8）年1月 戦略の草案がCERN理事会に提出され、3月と6月に議論の予定

➤ 中国の大型加速器（CEPC）計画

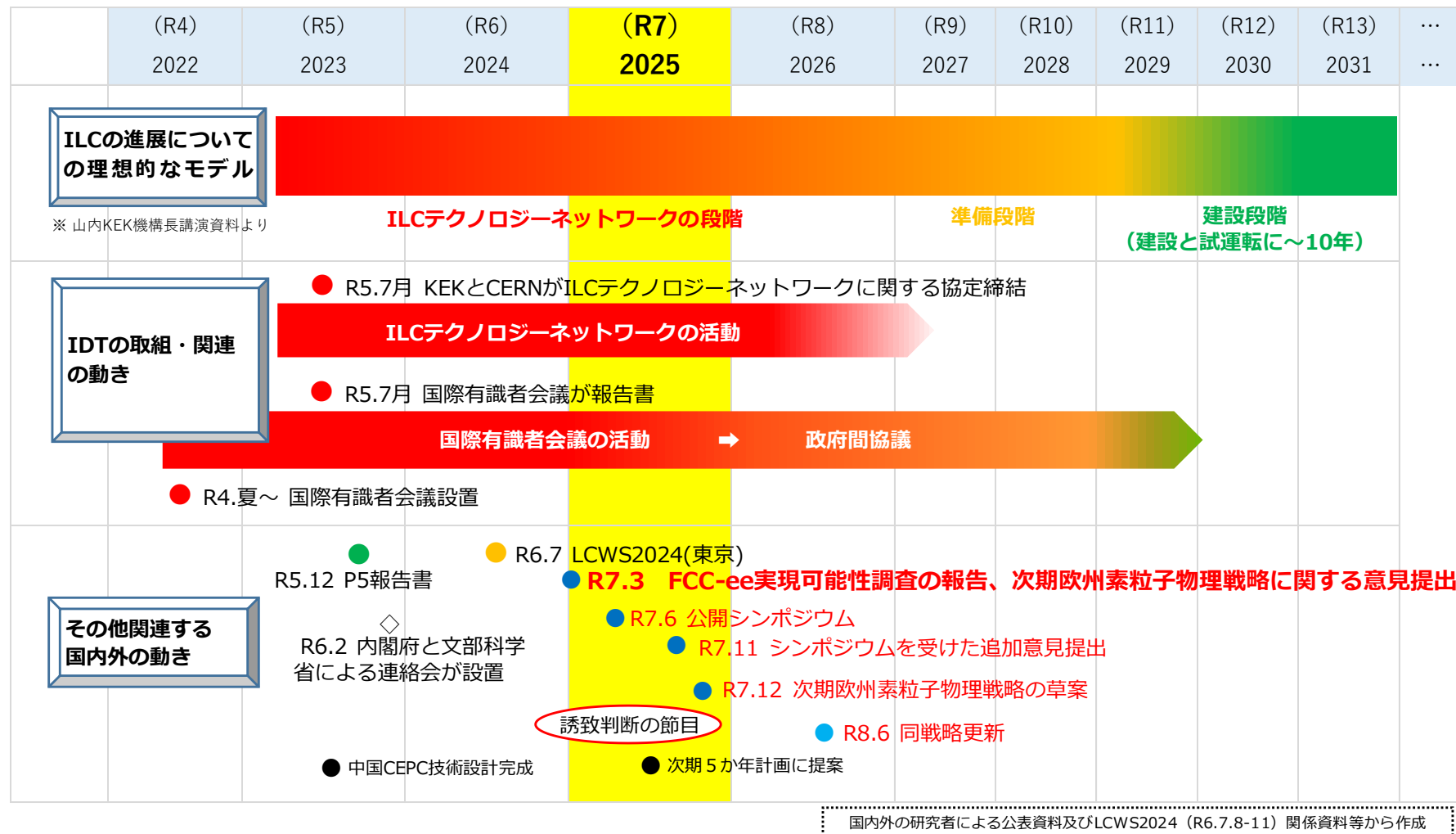
- 中国の大型円形加速器については、研究者が2025（令和7）年中に中国政府に提案予定で、5か年計画（2026～2030）に位置づけられれば、2027（令和9）年に着工の可能性

➤ 国内の動き

- 2024（令和6）年2月 内閣府と文部科学省による「将来の高性能加速器に関する連絡会」を設置
- 2024（令和6）年12月 自由民主党政務調査会の科学技術・イノベーション戦略調査会により有識者ヒアリングを実施

【ILC全体のタイムライン】

(ILCの進展についての理想的なモデル) (成功志向で大きな事故がないことを前提にしている)



日本、欧州、中国の3つの計画が同時に進められる中、ILCに対する世界的な議論をリードするため、国内の議論を加速させること、1日も早い日本政府の前向きな判断を後押しするための国民的な機運醸成を図ることが必要である。

2 令和6年度における取組実績

1 ILC実現に向けた取組

(1) 国等への要望

ア 政府予算要望

6月7日 財務省（鈴木俊一 大臣）、復興庁（土屋品子 大臣）、内閣府【科学技術政策】（平沼正二郎 大臣政務官）、
文部科学省（本田顕子 大臣政務官）、
内閣府【地方創生】、外務省、経済産業省、国土交通省

■令和7年度政府予算等に関する提言・要望（6月7日）

《 要 望 事 項 》

国際リニアコライダー（ILC）の実現

ILCの実現に向けて、次の事項について要望します。

- 1 国際協働による加速器の研究開発等が着実に進むよう必要な予算措置を講じること
- 2 関係省庁が連携して取り組む国家プロジェクトとして位置づけ、政府全体で誘致を推進すること
- 3 日本政府が主導し、国際的な議論を推進すること

イ 全国知事会 国の施策並びに予算に関する提案・要望

8月「地域における科学技術の振興について」

ウ 北海道東北地方知事会 定期提言

7月、11月「国際リニアコライダーの実現について」



6月 財務省 鈴木俊一大臣への要望

(2) 研究者の取組への支援

東北ILC事業推進センターにおいて、研究者が行う取組を支援。

【令和6年度東北ILC事業推進センターの取組実績】

○ 国際学会（LCWS2024）でのPR

7月に東京大学で行われたLCWS2024において、鈴木厚人代表による当センターの活動内容についての発表、岩手大学及び岩手県立大学客員教授の吉岡正和氏によるグリーンILC実現に向けた発表を実施したほか、ポスター9枚に部会ごとの取組状況をまとめ、研究者や大学生に対して紹介、加えてノベルティグッズ配布による当センターのPRを実施

○ 地形・地質調査、施設設備

土地利用、景観や自然等の地域社会への影響に配慮した施設配置案の取りまとめ、埋蔵文化財の調査

○ 物流、組立拠点等の研究

大型機器の輸送課題の対応の経済性等を踏まえた機器の製造工程の見直し、分割輸送・現地組立を行う代替案の可能性の調査、比較検討等

○ まちづくり、受入環境整備

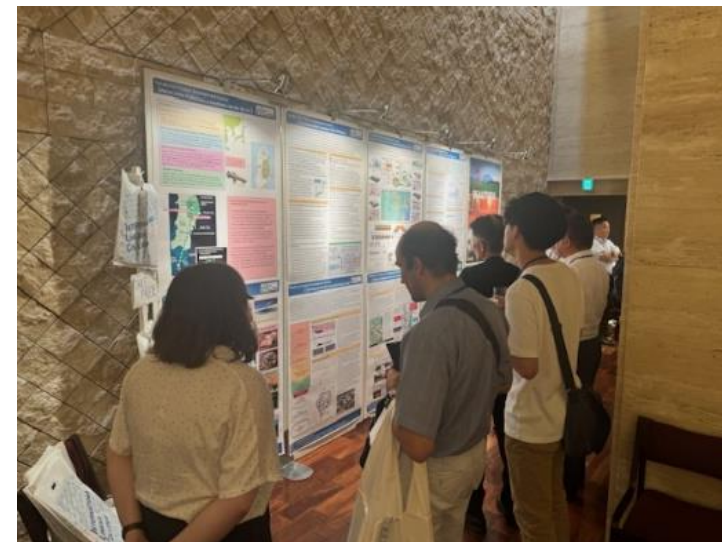
岩手大学等との共同研究「ILC誘致を契機にしたまちづくり（ILCまちづくり）がもたらす社会的な貢献に関する研究」

○ 地域住民の理解促進活動

ILCの意義、ILC計画の最新の状況、安全管理等について地域住民などに説明するILC解説セミナーを開催

○ 加速器関連産業の振興

加速器技術の動向把握や放射光の利用拡大を通じたPR活動等の実施、ナノテラス受注参入支援等



7月 LCWS2024 ポスターセッションにおいてセンターの取組を紹介（東京都）



12月 ILC 解説セミナー（一関市）



1月 ILC 解説セミナー（大船渡市）

(3) 海外研究機関等との連携

ア 内容

欧州の研究施設を訪問し、ILC に関する国際協働への協力を要請するとともに、研究者等との意見交換及び最新の国際情勢の情報収集を実施

イ 訪問日程・訪問先

- 1 月 28 日 ドイツ電子シンクロトロン (DESY) (ドイツ・ハンブルク)
- 1 月 29 日 ILC 国際推進チーム (IDT) (スイス・ジュネーヴ) 中田達也議長
- 1 月 30 日 欧州原子核研究機構 (CERN) (同上)

ウ 参加者

佐々木副知事、飯澤副議長、岩渕議員、城内議員、佐々木(朋)議員、渕上大船渡市長、佐藤一関市長、他 5 名 計 12 名

エ 海外研究機関からの主な意見

- ・ 日本の I L C は政治的、予算的な問題で話が進んでおらず、可能性が薄れている印象がある (DESY)
- ・ グローバルプロジェクトとして関係国の合意で進めるとしても、誰かが音頭をとらなければならない (IDT)
- ・ 次の大型加速器として F C C - e e を最優先としながらも、欧州での I L C も検討している (CERN)
- ・ 線形加速器 (ILC 等) の優位な点は、円形 (FCC-ee 等) よりコストが低いこと、最新技術を活用できることである (DESY、IDT)



CERN での意見交換

(4) 国民・県民理解の増進

ア 国民的な機運の醸成

PR コンテンツの制作等を通じて、首都圏を中心とした ILC 日本誘致に向けた機運醸成を促すキャンペーンを展開

(ア) 小島よしお氏によるプロモーション動画の作成・放映、特設サイトの作成

- 動画再生数 35,585 回
- サイト閲覧数 7,341 回

(イ) #ILC フレンズキャンペーンの展開 (10 月～2 月)

SNS (X、Facebook、Instagram) で ILC 実現に向けた応援メッセージと共に「#ILC フレンズ」と投稿してくれた人に抽選で県産品等をプレゼント

- 「#ILC フレンズ」投稿数 1,143 件
- インプレッション数 398,992 回



PR チラシ (小島よしお氏)

(ウ) 首都圏でのメディア向け発表会の実施（10月）

首都圏のメディアに対し、キャンペーンの紹介及び ILC オンライン講演（講師：村山 斉カリフォルニア大学バークレー校教授）を実施

■ 参集メディア数 29 社

■ メディア放映・掲載数 71 件

(エ) 岩手日報新聞広告に全面広告掲載（10月）

(オ) 首都圏イベントへの出展（11月）

ふるさとフェア 2024（神奈川県）に出展

■ ブース来場者数 1,152 人

イ 普及啓発の推進

(ア) 地域住民を対象とした説明会等の実施

ILC 解説セミナーを開催し、ILC の意義等について情報発信（東北 ILC 事業推進センターと連携）参加者数：一関市（12月）50名、大船渡市（1月）43名

(イ) 岩手 ILC 連携室・オープンラボの公開

県内事業者、商工会議所等による視察 28 団体 117 名

一般公開（工業技術センター公開 DAY2024 と同時開催） 1,295 名

(ウ) 県内関係機関等への情報発信

岩手県国際リニアコライダー推進協議会、県内 33 市町村、岩手県市長会、岩手県町村会に「Iwate ILC News Letter」として岩手県の ILC に関する情報を毎月 1 回提供

(エ) 県内関連団体が実施する講演会への共催

・ ILC 公開講演会（7月） 参加者数約 480 名

・ ILC 公開講演会（12月） 参加者数約 330 名

（岩手県国際リニアコライダー推進協議会と共催）



村山斉教授によるオンライン講演（メディア発表会）



10月 岩手 ILC 連携室・オープンラボ一般公開
※ 工業技術センター公開 DAY2024 と同時開催



12月 ILC 公開講演会（盛岡市）

ウ イベントへの出展等によるPR

(ア) イベント等への出展（県内8イベント、県外6イベント）

- 4月 ニコニコ超会議2024（千葉県）
- 7月 LCWS2024（東京都）
- 8月 盛岡さんさ踊り（盛岡市）
- 9月 サイエンスアゴラ2024（東京都）、グルージャ盛岡（盛岡市）
農研センター一般公開（北上市）、VACUUM2024真空展（東京都）
- 10月 釜石シーウェイブスRFC公式戦（釜石市）、工業技術センター一般公開（盛岡市）
いわて銀河フェスタ（奥州市）【県南広域振興局対応】
- 11月 ふるさとフェア（神奈川県）、いわてまるごと科学・情報館（盛岡市）
- 12月 岩手ビッグブルズ公式戦（盛岡市）
- 1月 宇宙産業展2025（東京都）

(イ) 盛岡駅前歓迎塔への看板掲出【盛岡広域振興局】

盛岡の玄関口である盛岡駅前に看板を掲出し、来県者及び市民へのPRを実施

エ 国内外に向けた情報発信

SNSによる岩手の食や観光等の情報発信

【海外向け】 THE KITAKAMI TIMES、X(旧Twitter)「Iwate & the ILC」

【国内向け】・X(旧Twitter)「岩手&ILC」、Facebook「岩手&ILC」

- ・県広報誌「いわてグラフ」における情報発信（12月）

ILCが育てるグローバル人材

- ・県政テレビ番組「いわて！わんこ広報室」における情報発信（2月）

ILC・国際リニアコライダーの実現～加速器関連産業振興によるイノベーションの創出に向けて～

【市町村向け】 Iwate ILC News Letterの発行による情報提供

オ 小中学生を対象とした理解促進の取組【盛岡広域振興局、県南広域振興局と連携】

県内の小中学校において出前授業を実施（5校）

カ その他

- 10月 アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)のトロットマン所長への情報提供（フランス
アルザスの夕べ（東京）への出席）



10月 サイエンスアゴラ 2024
（東京・テレコムセンター）



盛岡駅前看板掲出



10月 THE KITAKAMI TIMES 掲載記事

「良水、良米、南部杜氏の技と酒造りの風土が育んだ岩手の清酒を楽しもう！
～2023年にG I（地理的表示）指定を受けた日本酒「岩手の清酒」について～」

2 ILCプロジェクトの推進

(1) 国際研究拠点の形成支援等（まちづくり・インフラ整備分科会）

ア ILCを契機とした居住や交通、エネルギー等に関する地域の将来まちづくり

(ア) 岩手大学及び東北ILC事業推進センターによる共同研究「ILC誘致を契機にしたまちづくり（ILCまちづくり）がもたらす社会的な貢献に関する研究」に協力（研究テーマ：低炭素まちづくりと社会的価値の向上、ILCが地域にもたらす好循環）

(イ) KEKが実施する環境アセスメントに関する検討に参加し、庁内関係部局と情報を共有しながら取組を支援（4回）

イ 実験装置組立、検査拠点及び物流に関する国際コミュニティに向けた活動報告

東北ILC事業推進センターと連携し、国際学会リニアコライダー・ワークショップ(LCWS2024)のポスターセッションにおいて、これまでの取組内容について発表



LCWS2024(ポスターセッション)

(2) イノベーションの創出（産業振興分科会）

ア 県内企業の加速器関連産業への参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成

いわて加速器関連産業研究会を通じたILC技術セミナーを開催し、加速器の最新技術や産業利用等、幅広く情報を提供（5回）

第1回 超伝導加速器の開発とその応用利用、企業紹介（60名）

第2回 超伝導加速器空洞の制作と運用、ブロードリスニングによるILC推進（47名）

第3回 ナノテラスの紹介とXAFS測定の実例紹介（117名）

第4回 ILCとまちづくり、NPO法人IRCプロジェクトの取組紹介（43名）

第5回 ゲノム/オミックス研究の現況、重粒子線施設の動向（42名）



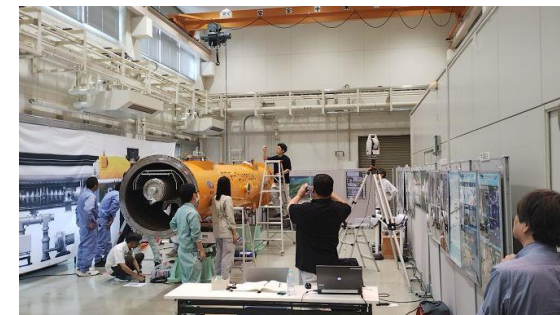
12月 第4回 ILC 技術セミナー
(オープンラボ)

イ ILCに関連する技術・研究成果の産業化の支援

- (ア) 専門知識を有する加速器コーディネーターを配置し、県内企業と研究機関・大手企業等とのマッチングを実施（KEKなどから16件の受注）
- (イ) 次世代放射光関連の装置や部品を受注した企業に対し、製造から納品までの継続した技術支援を実施
- (ウ) いわて産業振興センターが、ILCの要素技術の一つである陽電子発生装置に関する部品をKEKから県内企業が受注出来るよう、企業の加速器関連機器の研究開発を支援
- (エ) 岩手ILC連携室・オープンラボに整備した試作品性能評価機器等を活用し、研究者を講師とした加速器真空チェンバーの真空度の測定や加速管の加速電場測定など、企業の技術力向上を目的とした講習会（チャレンジ部）を開催（5回）

- 第1回 加速器における超高真空関連装置の取り扱い、ベーキング技術の実習（4社8名）
- 第2回 加速器関連装置の精密位置決め（アライメント）（5社8名）
- 第3回 Matterportによるデジタルツインの実現（14社27名）
- 第4回 コイル巻線指導とLED点灯板の制作（前半）（2社4名）
- 第5回 コイル巻線指導とLED点灯板の制作（後半）（2社4名）

- (オ) 学会や展示会等の機会を活用し、いわて加速器関連産業研究会の取組成果をPR
 - ・ LCWS2024において研究会の取組をPR（7月）
 - ・ 第21回日本加速器学会年会へのブース出展（8月）
 - ・ VACUUM真空展2024でのブース出展（9月）



10月 第2回チャレンジ部
(オープンラボ)

(3) ILCによるエコ社会の実現（グリーンILC分科会）

ア 熱輸送システムの実用化に向けた共同研究を推進

岩手大学と企業との共同による蓄熱吸着材（ハスクレイ）熱輸送システムの実用化に向けた研究について、研究協力者として取組を支援

イ 森林資源の活用及びCO2吸収量の把握に係る共同研究を推進

岩手大学と企業との共同によるILC建設候補地の地形情報の収集や森林のCO2吸収ポテンシャルの算定方法の整理など、ILC建設候補地域のカーボンニュートラルの実現と岩手県産木材の利活用による林業の活性化に向けた調査及び技術的検討を実施

ウ グリーンILCの普及啓発

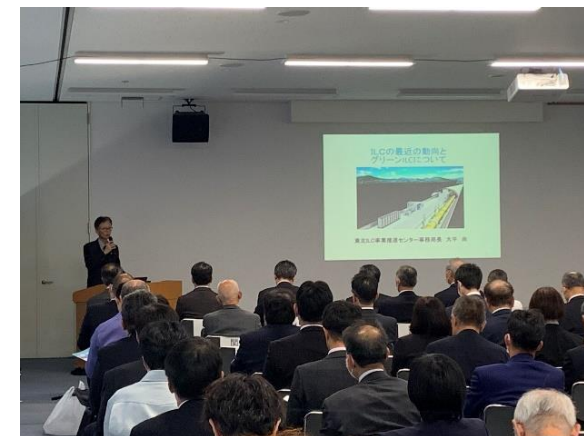
(ア) 東北ILC事業推進センターと連携し、国際学会リニアコライダー・ワークショップ(LCWS2024)のポスターセッションにおいて、グリーンILCに関する取組を周知

(イ) グリーンILCについて広く周知を図るとともに、グリーンILCの実現に向け、研究者や自治体との連携を深めるため、グリーンILCセミナーを開催（2回）

第1回（第13回） 「カーボンニュートラルの実現に向けた最新技術の活用」
（参加者107名）

第2回（第14回） 「カーボンニュートラルの実現に向けた最新技術の活用・創出」
（参加者75名）

※ 各講演は、後日、オンラインによる録画配信を実施



11月 第13回グリーンILCセミナー
（大船渡市）



2月 第14回グリーンILCセミナー
（北上市）

(4) 外国人研究者等の受入環境整備（外国人居住環境分科会、外国人研究者等の医療分科会、教育分科会）

ア 外国人研究者等の生活環境整備

外国人研究者やその家族の居住を見据えた外国人への生活支援サービスの提供及び生活支援サービスについての調査・検討を実施

- (ア) 「いわて外国人県民相談・支援センター」における外国人相談員による外国人県民等の相談支援の実施【ふるさと振興部】
- (イ) 多文化共生地域づくりワークショップの開催（6月）【同上】
- (ウ) 外国人県民等を対象とした医療相談会の実施（11月）【同上】
- (エ) 多文化共生医療防災セミナーの開催（1月）【県南広域振興局】
- (オ) 多文化共生地域づくりセミナーの開催（3月）【ふるさと振興部】

イ 外国人児童生徒の受入れに関する検討及び受入体制整備を促進

- (ア) 令和6年3月に岩手県教育委員会が策定した「岩手県外国人児童生徒等教育方針」に基づき、外国人研究者等の子弟を含めた外国人児童生徒等の受入体制整備を促進【県教育委員会】
- (イ) 「帰国・外国人児童生徒等教育関係者研修会」の開催のほか、「岩手県外国人児童生徒等教育関係者連携会議」を実施【同上】
- (ウ) 外国人児童・生徒のための就学支援ハンドブックを活用し、教育制度の違いや就学手続き等を周知【同上】

ウ 国際学級やインターナショナルスクール設置の必要性を検討

岩手県及び宮城県に所在するインターナショナルスクールの設置状況を調査



1月 多文化共生医療防災セミナー
（県南広域振興局主催）

(5) 交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上（地域資源活用分科会、教育分科会）

ア 国内外に向けた情報発信の強化

SNS・ホームページによる岩手の食や観光等の情報発信（再掲）

【海外向け】THE KITAKAMI TIMES、X（旧Twitter）「Iwate & the ILC」

【国内向け】・X（旧Twitter）「岩手&ILC」、Facebook「岩手&ILC」

- ・県広報誌「いわてグラフ」における情報発信（12月）

ILCが育てるグローバル人材

- ・県政テレビ番組「いわて！わんこ広報室」における情報発信（2月）

ILC・国際リニアコライダーの実現～加速器関連産業振興によるイノベーションの創出に向けて



「わんこ広報室」での情報発信

イ 機運醸成・理解促進

これまでに県内事業者と協働して作成したILCオリジナルデザインの「南部鉄器風鈴」、「手ぬぐい」、「被災地松はがき」等を県内外のイベント等において配布

ウ 高校生を対象としたILCに関連する分野で活躍する人材育成

(ア) ILCを契機に科学に対する興味・関心の喚起・深化を図るため、県内の高校生・高専生を対象とし、次の取組を実施

- ・ KEKの研究者を講師とした「科学講演会」を実地開催し、7校に配信（6月）
- ・ 「いわての高校生サイエンス&エンジニアリングチャレンジ・コンテスト」を開催し、6校9チームが参加（12月）。優勝チームによる先端研究施設派遣研修を実施（3月）

(イ) 小中学生を対象とした理解促進の取組【盛岡広域振興局、県南広域振興局と連携】（再掲）
県内の小中学校において出前授業を実施（5校）



12月 高校生チャレンジ・コンテスト
（アイーナ）

3 令和7年度におけるILC推進の具体的な取組内容

(1) 基本方針

- 日本政府によるタイムリーな誘致判断が行われるよう、県内外の関係団体とともに、後押しとなる国民的な機運醸成を図りながら、一体となった働きかけを行う。
- 「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる「ILC プロジェクト」を推進し、ILC 誘致を契機とした産業振興やまちづくりなど、ILC の実現効果を高めるよう受入準備を促進する。

➤ 実現に向けた県の取組

- ① I L C が持つ多様な価値を県内外の推進団体と共有し、全国知事会等とも連携しながら**国等への働きかけを強化**
- ② 受入体制整備等の取組の推進に向けた**研究者の取組支援**（東北 ILC 事業推進センターとの連携）
- ③ 国民的な機運醸成を図るため、大阪・関西万博などの機会をとらえ、電車内広告など効果的な情報発信を実施

➤ ILC プロジェクトの推進

- ① 県内企業の加速器関連分野の受注増大に向け、**加速器コーディネーター等**による関東、関西方面の活動を強化するとともに、引き続き、岩手 I L C 連携室・オープンラボに整備した性能評価機器を活用しながら**技術支援**を実施
- ② **グリーン I L C に関するセミナー**の開催による普及啓発、カーボンニュートラルに資する取組を実施している企業等の調査を実施
- ③ 高校生等を対象とした**科学講演会**や**科学・工学に関するコンテスト等の実施**、小中学生を対象とした**出前授業の実施**

R7全体スケジュール

年	2025年											2026年	
月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
欧州	●FCC-ee FS最終報告 ●欧州戦略に関する意見提出締切 ●6/23-27欧州戦略公開シンポジウム(イタリア) ●11/14公開シンポジウムを受けた追加意見提出締切 ●公開シンポジウムに向けた追加意見提出締切 ●5/19-23 FCC WEEK (オーストリア) ●10/20-24 LCWS (スペイン) ●12.1-5欧州戦略立案セッション ●戦略草案をCERN理事会に提出 ●CERN理事会にて草案を議論・改訂 (6月に承認見込)												
中国	●CEPC計画を政府に提案 (2025年中、時期未定)											●中国第15次5か年計画 (2026-2030)	
日本	●骨太方針 ●概算要求 ●政府予算案閣議決定 自民党政務調査会（科学技術・イノベーション戦略調査会）、議員連盟の活動 国内研究者の活動（欧州戦略への対応等）												
県	県推進本部会議 ● ● ●政府予算要望 5/13合同要望 大阪万博期間(4/13～10/13) 機運醸成事業(JR西日本車両内広告、JR東海発信誌掲載) 各種セミナーの開催による理解促進 ILC技術セミナー、講習会等による技術力向上支援 SNS、ニュースレターによる情報発信、欧州・国内の情報収集												

(2) ILC実現に向けた取組

現状と課題	令和7年度の取組の方向性
<現状> ○ 国内外の研究者が2030年頃を建設開始とするタイムラインを公表 ○ ILCテクノロジーネットワークの枠組みによる国際協働の研究開発が進む。 ※ 政府予算に計上された将来加速器の性能向上に向けた重要要素技術開発費（7億円）を活用 ○ 米国の今後10年の素粒子物理学の方向性を示す報告書に、米国が貢献するプロジェクトの選択肢として、ILCを多額の予算規模と共に掲載 ○ 次期欧州素粒子物理戦略の草案が令和7年内に取りまとめられる予定とされ、中国の円形加速器CEPC、欧州のFCC-ee、日本のILCの3つの計画の検討が同時に進行 ○ 新たに内閣府と文部科学省による「将来の高性能加速器に関する連絡会」が設置（R6.2） ○ 自民党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会による有識者ヒアリング」の実施（R6.12） <課題> ○ 国際協働による加速器の研究開発に資する予算措置 ○ 関係省庁が連携して取り組む国家プロジェクトとして位置づけた政府全体での誘致推進	国等への働きかけ ILCの実現によるイノベーションの創出と産業の発展、新たな地方創生と東日本大震災津波からの創造的復興などの多様な価値を県内外の推進団体と共有し、全国知事会等とも連携しながら国や政府与党等に対して働きかけるほか、欧州素粒子物理戦略の改定時期を踏まえ、東北の関係団体と合同で要望を実施（5/13(火)予定） 【要望項目】 ・ 国際協働による加速器の研究開発に資する予算措置 ・ 関係省庁が連携して取り組む国家プロジェクトとして位置づけた政府全体での誘致推進 ・ 日本政府が主導しての国際的な議論を推進 研究者の取組への支援 ・ 東北ILC事業推進センター事業として研究者が推進する取組を支援し、ILC受入に必要な環境の整備を推進 ・ LCWS2025（スペイン）等の機会を捉えた建設候補地における取組の発信 【東北 ILC 事業推進センター令和7年度事業（予定）】 ・ 地形・地質調査、施設配置 ・ まちづくり、受入環境整備 ・ 地域住民の理解促進活動 ・ 加速器関連産業の振興方策 ・ ILC立地に係る自然環境調査 ・ グリーンILC など

現状と課題	令和7年度取組の方向性
○ 日本政府が主導しての国際的な議論の推進 ○ 建設候補地として必要な受入環境の整備 ○ 日本政府のタイムリーな誘致判断の後押しとなる国民的な機運の醸成	○ 国民的な機運の醸成 ・ 政府の前向きな判断を後押しするため、研究者や財界等に対する関連団体の働きかけを促すほか、国民の理解増進のため、<u>2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」</u>を活用し、JR西日本やOsaka Metroでの電車内デジタルサイネージやJR東海管内の新幹線車内誌（Wedge）への掲載を実施するなど、<u>様々な機会を捉えた取組を実施</u>    ＜その他、従前の取組＞ ・ 普及啓発の推進（講演会・研修会等の開催） ・ 地域住民を対象とした説明会等の実施（解説セミナーの開催） ・ イベント等への出展によるPR（真空展2025、宇宙産業展2026ほか） ・ 国内外に向けた情報発信（X、THE KITAKAMI TIMES等） ・ 岩手 ILC 連携室・オープンラボの見学受入

(3) ILC プロジェクトの推進

- ILC の実現及び ILC の多様な効果の地域への波及に向け、いわて県民計画（2019～2028）に掲げる ILC プロジェクトを全庁挙げて推進するため、岩手県 ILC 推進本部を設置し、部局横断の取組を推進
- ILC プロジェクトを推進する方向を示す戦略として策定した「ILC による地域振興ビジョン」に基づき、受入準備、関連産業の振興や人材育成等の取組を推進

① 国際研究拠点の形成支援と研究開発を目指す人材の育成

〔まちづくり・インフラ整備分科会、産業振興分科会〕 ふる・環境・商工・県土・盛岡局・県南局・県警・ILC

現状と課題	令和7年度の具体的取組内容	主な関連事業名
【現状】 - 産学官の共同研究による「まちづくりのモデルケース」策定 - 加速器関連産業技術者の育成 【課題】 - 関係市町における ILC を契機としたまちづくりの支援 - ILC に関わる幅広い分野で活躍できる人材の育成	➤ ILC 誘致を契機にした居住や交通、エネルギー等に関する地域の将来まちづくり - 岩手大学及び東北 ILC 事業推進センターによる共同研究「ILC 誘致を契機にしたまちづくり（ILC まちづくり）の研究」に協力し、説明会や意見交換会の開催など、市町村のまちづくりに生かす取組を推進〔東北 ILC 事業推進センターが行う事業の支援〕 - 研究者等による環境影響評価の実施に向けた意見交換等を継続 ➤ 加速器関連産業など県内企業の技術力向上への支援を強化 - いわて加速器関連産業研究会を通じた技術セミナーを実施	ILC 推進事業費 (ILC)

② イノベーションの創出 [産業振興分科会] ふる・商工・盛岡局・県南局・ILC

現状と課題	令和7年度の具体的取組内容	主な関連事業名
【現状】 - 企業の加速器関連産業への参入に向けた商談取引支援 - 産学が連携した共同研究の実施等について意見交換 - 企業技術者を対象とした技術支援 【課題】 - 産業集積に向けた取組 - 県内ものづくり企業の参入と受注につながるオープンイノベーションネットワークの構築 - 加速器関連先端技術を担う専門人材の育成	➤ 企業の技術力向上支援及び加速器関連産業への参入支援を強化 - いわて加速器関連産業研究会を通じた技術セミナーを実施（再掲） - 国内加速器研究施設の高度化による受注を見据え、高度化専門知識のある加速器コーディネーターを配置し、関東、関西方面への企業訪問や研究機関等とのマッチング等を強化 ➤ いわて加速器関連産業研究会を軸にした、大学、公設試験研究機関等との連携を強化 ➤ 加速器関連産業など県内企業の技術力向上への支援を強化 - 大手企業や研究機関との受注促進に向けた講習会を開催 - 岩手 ILC 連携室・オープンラボに整備した機器を活用し、研究者と企業の共同開発、技術者向けの技術指導、国内外研究者との交流等を実施	ILC 推進事業費(ILC) 同上

③ グリーン ILC（環境、エネルギー）によるエコ社会の実現 [グリーン ILC 分科会] 環境・農水・県土・県南局・ILC

現状と課題	令和7年度の具体的取組内容	主な関連事業名
【現状】 - ILC のエネルギー利活用に向けた、「吸着材蓄熱システム ハスクレイ」による熱輸送システムの研究 - カーボンニュートラルの実現に向けた持続可能な森林資源の活用方法の研究 【課題】 - ILC におけるエネルギー利用を地域経済の活性化や環境への配慮等につなげる方策の検討 - グリーン ILC の理念・取組の普及啓発	➤ 熱輸送システムの実用化に向けた共同研究を推進 「吸着材蓄熱システム ハスクレイ」による排熱輸送の産業化を見据え、地域内循環利用に向けた検討を実施 ➤ グリーン ILC の普及啓発や、カーボンニュートラルの実現に向けた森林資源の活用及び CO2 吸収量の把握に係る共同研究を推進 - グリーン ILC セミナーの開催等による普及啓発、グリーン ILC 啓発用リーフレットを活用した P R を実施 - ILC 建設候補地地域の森林の CO2 吸収量の算定手法等について検討	ILC 推進事業費(ILC) 同上

④ 国際性豊かで便利な暮らしやすいコミュニティの形成〔居住環境、医療、教育分科会〕 政企・ふる・保福・県南局・医療局・教委・ILC

現状と課題	令和7年度の具体的取組内容	主な関連事業名
【現状】 - 海外研究者等の生活支援のための関係自治体との連携体制の構築検討 - 海外研究者子弟の既存校等での受入れ検討 - 海外研究者等の医療に関する支援の取りまとめ及び課題の整理・検討 【課題】 - 海外研究者・家族及び地域住民が暮らしやすい社会の実現と多文化共生コミュニティの形成	➤ 海外研究者の生活支援のための行政手続等、具体的支援内容を検討 - 行政手続や生活支援に関する海外研究者が必要とする情報等について調査・検討を実施 - 多文化共生を担う人材育成や地域づくりに向けた研修会等の実施 - 県民を対象とした多様な文化への理解促進などを目的とした研修会等の開催 ➤ 外国人児童生徒の受入れに関する検討及び受入態勢整備を促進 「岩手県外国人児童生徒等教育方針」に基づき外国人児童生徒等の受入態勢を強化 ➤ 海外研究者等が医療機関受診の際に必要なとする具体的支援について、関係団体と検討 - 外国人を対象とした医療相談会や、医療通訳研修会への支援等の実施	ILC 推進事業費 (ILC) 地域多文化共生推進費(ふるさと) 地域経営推進費(沿岸局) 指導運営費(教委) 地域多文化共生推進費(ふるさと)

⑤ ILC を活用した交流人口の拡大、科学技術教育水準の向上〔地域資源活用、教育分科会〕 ふる・農水・商工・県南局・教委・ILC

現状と課題	令和7年度の具体的取組内容	主な関連事業名
【現状】 - ILC 関連情報や県内の食・観光情報の海外向け発信 - 小中学校での出前授業、高校生を対象とした講演会等を通じた科学への関心の喚起 【課題】 - 海外向け情報発信の強化 - 科学に興味を持つ児童生徒の拡大	➤ 海外向け情報発信 - THE KITAKAMI TIMES や SNS による、ILC に関する情報及び岩手の魅力（食や観光、岩手での生活）の発信 ➤ 機運醸成、理解増進 - 大阪・関西万博における東北自治体合同出展での ILC に関する情報及び岩手の魅力（観光、伝統工芸等）の発信 ➤ 県内の小中学生・高校生を対象に、ILC を含む科学への関心を喚起する取組を強化 - 高校生・高専生を対象とした科学講演会、小中学生を対象とした出前授業の実施 - 科学・工学に関するコンテストの開催 - ILC に関係する専門家などの派遣を実施 - 理数系人材等の輩出を加速するため、探究的な学習を STEAM の視点から深める取組を推進	ILC 推進事業費 (ILC) 大阪・関西万博東北合同出展事業費(商工) ILC 推進事業費 (ILC) 【盛岡局・県南局と連携】 探究・STEAM 教育推進事業費(教委)

関係団体による講演会・セミナー等一覧（令和6年度）

時期	主 催	名 称（場所）
5 月	登米市 I L C 推進協議会	登米市 I L C 推進協議会総会における講演（宮城県）
6 月	東北 I L C 推進協議会	I L C 講演会（宮城県）
7 月	岩手県国際リニアコライダー推進協議会	I L C 公開講演会（盛岡市）
	東京大学・高エネルギー加速器研究機構	L C W S 2024（東京都）
8 月	奥州市 I L C 推進連絡協議会	奥州市 I L C 推進連絡協議会総会における講演（奥州市）
	東北 I L C 事業推進センター	I L C 計画現状説明会（一関市）
	岩手県議会・宮城県議会国際リニアコライダー建設実現議員連盟	I L C 講演会（宮城県）
	大船渡市 I L C 推進協議会	I L C 講演会（大船渡市）
9 月	東北 I L C 推進協議会	I L C 講演会（宮城県）
10 月	東北経営者協会	東北経営者大会における講演（盛岡市）
11 月	気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟	気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会における講演（大船渡市）
12 月	東北 I L C 事業推進センター	I L C 解説セミナー（一関市）
	岩手県国際リニアコライダー推進協議会	I L C 公開講演会（盛岡市）
1 月	東北 I L C 推進協議会	I L C 講演会（宮城県）
	東北 I L C 事業推進センター	I L C 解説セミナー（大船渡市）
2 月	盛岡商工会議所	盛岡商工会議所創立 100 周年記念講演会（盛岡市）
	岩手県国際リニアコライダー推進協議会	Youtube 及び TikTok による PR 動画配信 合計再生回数 229 万回（4 月時点）